

Mortgage Service Japan Limited

February 8th, 2019

日本モーゲージサービス株式会社（東証一部：7192）

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

CONTENTS

- | | | | |
|----------|----------|----------------------------|-------------|
| 1 | | 2019年3月期 第3四半期 決算概要 | P.03 |
| 2 | | トピックス | P.09 |

1 | 2019年3月期 第3四半期 決算概要

2019年3月期3Q累計 連結業績ハイライト

営業収益

45.7 億円

前期比 **+1.6%**
+0.7億円

営業利益

8.5 億円

前期比 **+42.2%**
+2.5億円

経常利益

8.5 億円

前期比 **+41.0%**
+2.4億円

当期純利益

5.9 億円

前期比 **+54.3%**
+2.0億円

- 一部の商品において売上と原価を総額表示していた従来の方法から両者を相殺した純額表示に変更した影響により、営業収益は前期比で+1.6%となったが、営業利益は前期比+42.2%と大幅増となった
- 特に住宅金融事業では、前年度からの新規出店が奏功し、新規融資実行件数が堅調に増加。営業利益を押し上げる要因となった

254百万円の大幅な営業利益増

単位：百万円

	前期実績 2018年3月期 3Q累計実績 2017/04/01~ 2017/12/31	→	今期実績 2019年3月期 3Q累計実績 2018/04/01~ 2018/12/31	対前期 増減率	
営業収益	4,501		※ 4,574	1.6%	
住宅金融事業	1,291		1,585	22.7%	◎
住宅瑕疵保険等事業	2,611		※ 2,572	▲1.5%	
住宅アカデミア事業	598		※ 417	▲30.2%	
営業利益	601		855	42.2%	
住宅金融事業	333		472	41.6%	◎
住宅瑕疵保険等事業	305		332	8.9%	
住宅アカデミア事業	▲38		49	—	
営業利益率	13.4%		18.7%		
経常利益	603		850	41.0%	
経常利益率	13.4%		18.6%		
当期純利益	385		594	54.3%	
当期純利益率	8.6%		13.0%		

POINT①

※部分

会計表示の変更による影響

一部の商品において売上と原価を総額表示していた従来の方法から、両者を相殺した純額表示に変更した影響により微増

POINT②

◎部分

住宅金融事業の営業収益対前期比で22.7%、営業利益対前期比で41.6%の大幅増

拠点拡大により新規融資実行件数が堅調に推移し、他事業を牽引

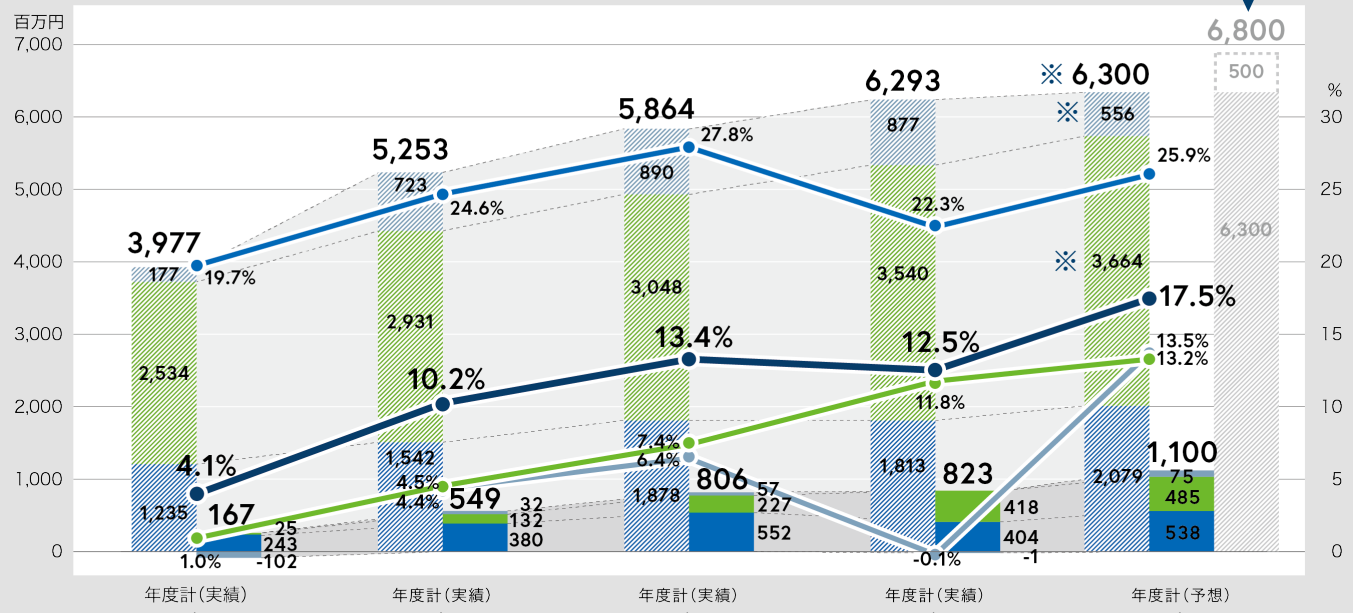
連結業績推移

P/L HISTORY

増収増益を続け成長

営業収益 住宅金融事業 住宅瑕疵保険等事業 住宅アカデミア事業
 営業利益 住宅金融事業 住宅瑕疵保険等事業 住宅アカデミア事業
 営業利益率 住宅金融事業 住宅瑕疵保険等事業 住宅アカデミア事業 連結合計

参考 従来の「売上+原価の総額表示」した場合の営業収益(差: 500百万円)



POINT①

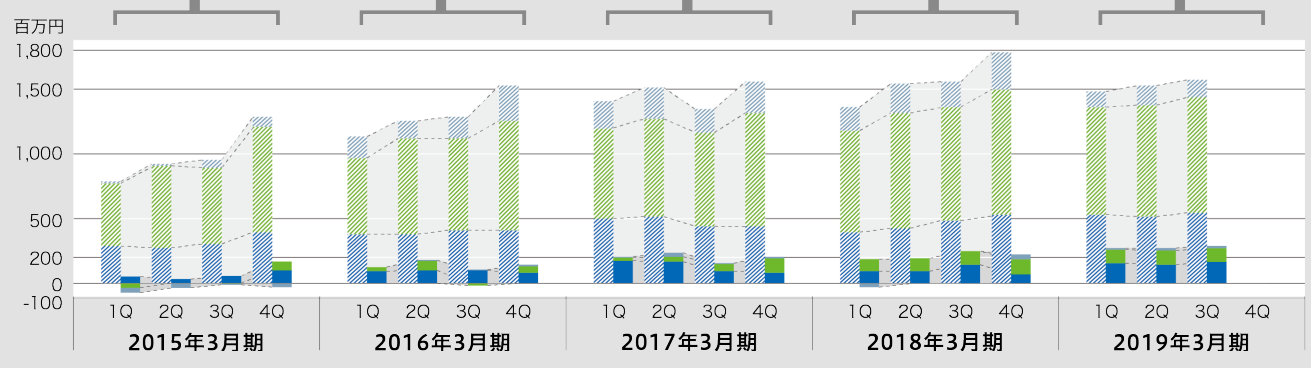
※部分 会計表示の変更による影響

一部の商品において売上と原価を総額表示していた従来の方法から、両者を相殺した純額表示に変更した影響により微増

POINT②

営業利益の伸びが顕著

住宅金融事業が安定した収益基盤へと成長。営業収益率が上昇



増減分析

INCREASE-DECREASE
ANALYSIS

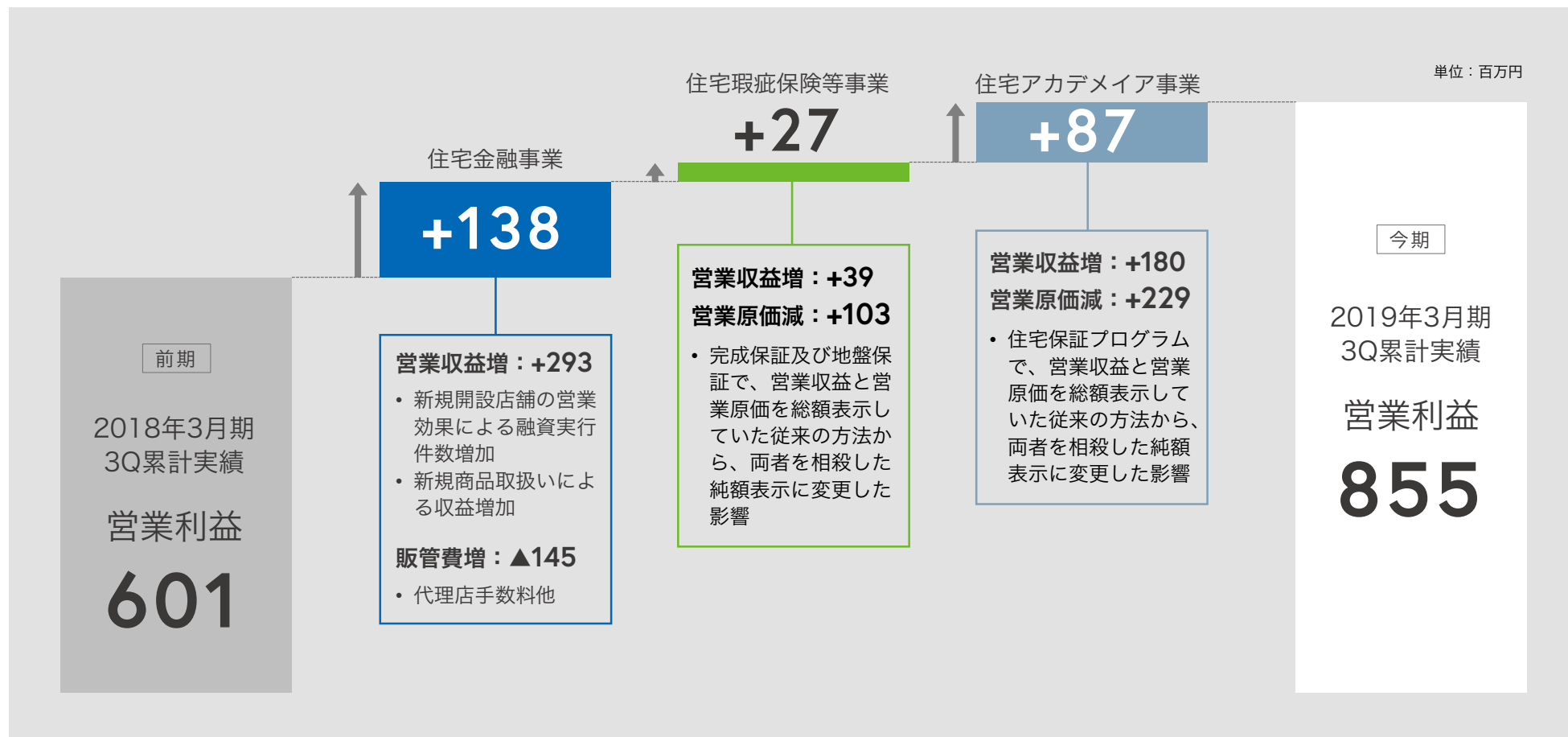
254百万円の大幅な営業利益増

POINT①

会計表示の変更による影響

POINT②

住宅金融事業が堅調。他事業を牽引



連結貸借対照表

B/S SUMMARY

自己資本比率 14.3% → 28.1%

単位：百万円

	前期実績 2018年3月期	今期実績 2019年3月期 3Q累計	対前期 増減
資産の部			
流動資産	21,628	12,584	▲9,043
うち営業未収入金	8,015	5,133	▲2,881
うち営業貸付金	7,572	1,507	▲6,064
固定資産	615	747	131
【資産合計】	22,243	13,331	▲8,912
負債の部+純資産の部			
流動負債	18,080	8,527	▲9,553
うち短期借入金 ※	14,964	4,437	▲10,527
固定負債	978	1,047	69
【負債合計】	19,059	9,574	▲9,484
株主資本	3,170	3,740	569
非支配株主持分	12	16	3
【純資産合計】	3,184	3,757	572
【負債純資産合計】	22,243	13,331	▲8,912

自己資本比率

14.3%

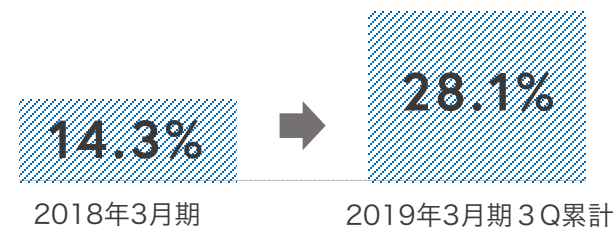
28.1%

※ 主に営業未収入金及び営業貸付金（プロパーつなぎローン）の債権譲渡代金が入金されるまでの1ヶ月未満の短期の資金調達を目的としたもの

つなぎ融資債権等の契約変更によるオフバランス化

POINT①

その結果、自己資本率が改善



POINT②

その結果、以下の債権債務が大幅に減少

- 資産
 - ・ 営業未収入金減少
 - ・ 営業貸付金減少
- 負債
 - ・ 短期借入金減少

2 | トピックス

配当予想の修正

POINT①

期末配当予想（普通配当）を1株当たり12円増額し20円に




POINT②

東証第一部記念配当を1株当たり13円増額し15円に






	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前期実績 (2018年3月期)		8円00銭 (普通配当 7円00銭) (記念配当 1円00銭)	8円00銭 (普通配当 7円00銭) (記念配当 1円00銭)
前回予想 (2018年9月18日発表)		10円00銭 (普通配当 8円00銭) (記念配当 2円00銭)	10円00銭 (普通配当 8円00銭) (記念配当 2円00銭)
		↓	↓
今回修正予想 (2019年1月21日発表)		35円00銭 (普通配当 20円00銭) (記念配当 15円00銭)	35円00銭 (普通配当 20円00銭) (記念配当 15円00銭)

株主優待制度の変更（拡充）

変更前

保有株式 100株以上		QUOカード 1,000円分×1枚	
保有株式 1,500株以上		QUOカード 1,000円分×1枚	+  優待宿泊券×1枚 グループ会社運営宿泊施設を 1棟1泊15,000円で利用可能

変更後

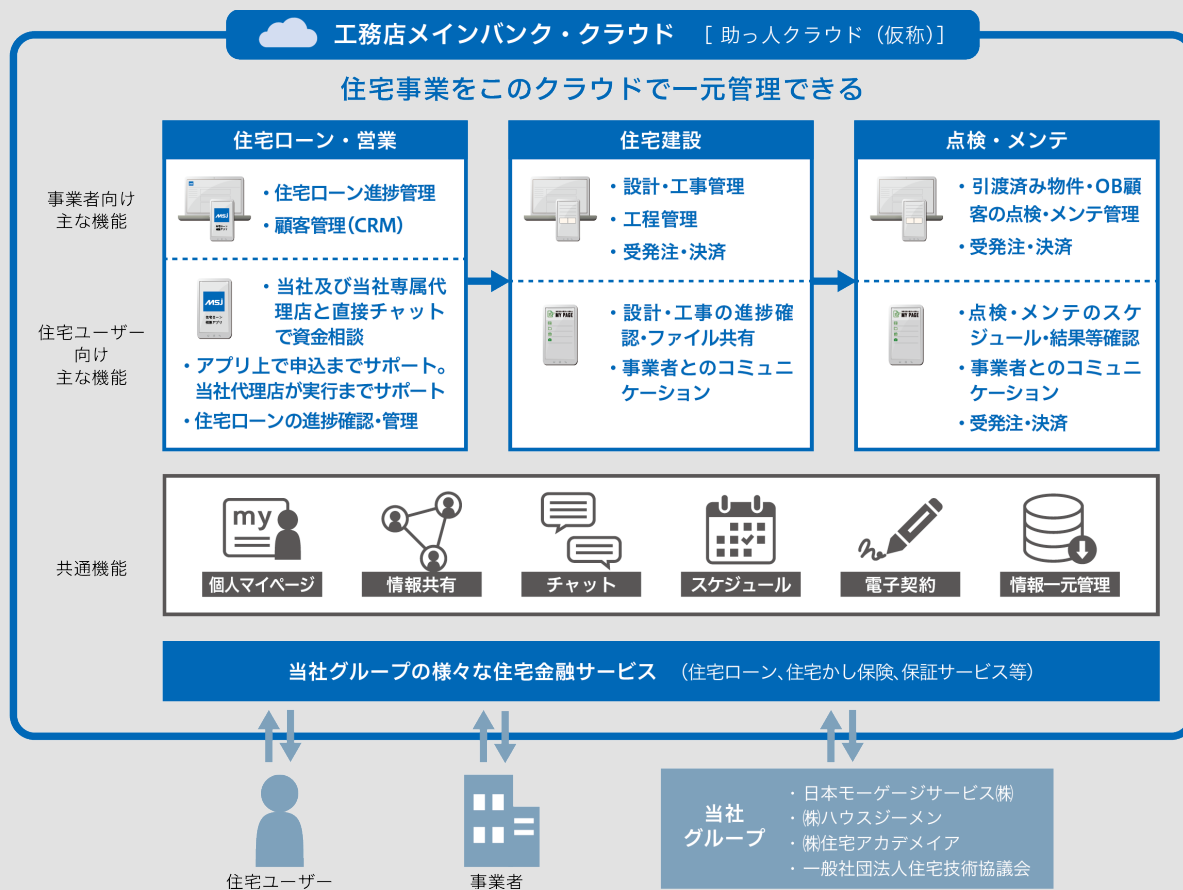
保有株式 100株以上	継続保有期間 1年未満		QUOカード 3,000円分×1枚	
	継続保有期間 1年以上 3年未満		QUOカード 3,000円分×1枚	+  カタログギフトより1品 (4,500円相当) 社会貢献の一環として、自然災害等 の被害を受けた地域の産品が中心
	継続保有期間 3年以上		QUOカード 3,000円分×1枚	+  カタログギフトより2品 (9,000円相当) 社会貢献の一環として、自然災害等 の被害を受けた地域の産品が中心

- ※ 2019年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株（1単元）以上保有の株主様への株主優待を対象として変更
- ※ 保有期間の確認にあたっては、3月末日及び9月末日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数を基準とする。3年以上：直近株主名簿に連続7回以上記載／1年以上3年未満：直近株主名簿に連続3回以上6回記載／1年未満：直近株主名簿に記載が2回以下

2019年2月8日付 当社プレスリリースより

「工務店メインバンク・クラウド」3月より順次運用開始

CRM・資金相談・ローン融資・決済金融



注意事項

CAUTIONARY POINTS

- 本資料は当社グループをご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関するご決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提により、当社グループが予想したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

問合せ先

CONTACT INFORMATION

日本モーゲージサービス株式会社 IR担当

E-mail ir-info@m-s-j.jp

TEL. 03-5408-8160